

1. 郷土資料館リニューアル事業・2期完了

平成29年度に引き続き、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動」にもとづき簾舞郷土資料館の展示室の整備、本年度は視聴覚の充実を図るため春より施工会社 CAV(シーエーブイ)の協力を得ながら事業を進め、町連と保存会が平成24年3月に製作した簾舞～歴史・文化・自然からなるDVD

3編と保存会が、編纂した本願寺街道と通行屋および簾舞地区の古い写真、さらに定山溪鉄道関連の写真など4編を「スライド・ショー」にして「ボタン」を押すことで軽快な



音楽とともに変わり行く画像が「出席者が資料館・60インチモニターを視聴」大型の60インチモニター(TV)に映し出されます。9月11日に町連の成田会長を招き藤沢保存会長と会員さらに関係者で公開を祝いました。今年、通行屋に本願寺街道と定鉄に関心の方の見学が多く見られ帰り際「簾舞は良い所だネ～」とお褒めの言葉をいただいております。

2. 「第29回簾舞通行屋まつり」 9月23日(日)

29回目を迎えた通行屋まつりは、晴天に恵まれて町内外から大勢の観客で賑わいましたが、全体的には来場者数が昨年を若干下廻ったと総合企画部より報告がありました。ただし通行屋館内の歴史鑑賞会



「石原良純・三戸なつめさんと定山溪鉄道編者久保ヒデキ氏」この時の取材をNHK札幌放送局で11月17日(土)午前10時25分～正式な番組名を聞いてませんが札幌市の躍進の一翼を担った定鉄に関わって放映されます。

は、予定した無料提供のコーヒーとジュースが、早々に無くなってしまいう嬉しい悲鳴、また突然訪問のタレントの石原良純・三戸なつめの両名が定鉄の展示品やNHKが用意した懐しい往時のDVDを鑑賞して行きました。

通行屋 & 資料館 ここに注目

館内も少しづつ
整備されてます



建物はmini開拓村
展示品は昔を語る
物言わぬ学芸員

資料館の看板
は板にペイント
で書き込みをし
目立ように・・・



←
建物入口にある
文化財/資料館
の開館日などの
お知らせ板も新
調し、「高札(こう
さつ)」風に製作

地域の歴史シリーズ No.23 2012.12 発行 旧簾舞通行屋保存会

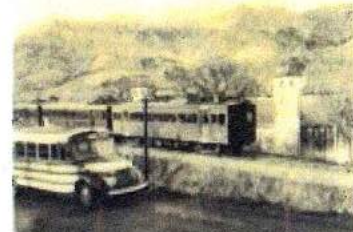
定鉄の年表では、大正4年定山溪鉄道設立。7年白石一定山溪間29.9km蒸気機関車の運行で開業、昭和4年東札幌一定山溪間電化、昭和20年白石一東札幌間廃止、昭和32年国鉄札幌乗り入れ、昭和44年廃止となっている。この間に様々な車輦が走り新型車を競って見に行ったものです。危険を承知でレールに耳を当てれば遠ざかる車輦の音は生き物のように感じ、利用した方には思いで多く、鉄道を知らない人には、かつて電車が乗客や荷物を運んでいたことを想像して下さい

定鉄(定山溪鉄道)の車輦

資料 簾舞郷土資料館



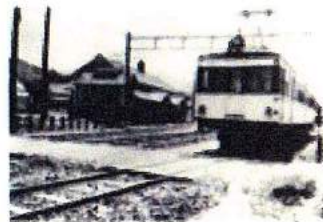
モ2101型(簾舞林業署附近) モ104・モハ201型と定鉄バス 簾舞ダム附近



キハ7501とモ801型(簾舞駅) 「札幌市電・今昔より」 萩原二郎撮影



モロ1101型(簾舞駅構内)



モハ2203型(簾舞駅)



モ2101型(豊滝停留所)



キハ7002型気動車(滝の沢駅)



モロ1101型(八剣山を背景に)



DD4501型内燃機関車



クハ602型(東簾舞停留所附近) 「消えた地より」 佐藤勝美撮影



クロ1111型 2等車



モハ2302型「北海道ローレル賞」を受賞



ED5002型電気機関車



C121型蒸気機関車



寄贈者 星 信氏

(左)
定山溪鉄道の助
役帽・外套(がい
とう)・キャリアケ
ース、モデル(写真)
は加賀谷金蔵氏
(右)



寄贈者 札幌市南消防署

消防・豊平町第5
分団(簾舞)の防
火服昭和30年代
に丸山義英氏が
着用しました